

虹の大樹

JAさっぽろコミュニケーションマガジン
「にじのたいじゅ」

2024年
8月号
NO.310

協同組合という
虹のもと、
大都市に深く
根を張りそびえる
大樹のような
JAで
ありたい――

今月の特集

第26回 通常総代会

色付き始めたブルーベリー
Photo by SOGA Takahiro

始まりは「知りたい気持ち」から 観光農園で提供する 安心と癒やしの空間

南地区組合員 こなか みちこ 小仲 美智子 さん



安全・安心な食べ物を通して、訪れる人が癒やされる、憩いの場を提供したい……。そのような想いで果物や野菜を育てる観光農園「アルシエフェルム」を訪ねた。

「知りたい気持ち」と
「行動力」で就農へ

真駒内駅から南へ車で20分。南区豊滝の、国道230号線沿いにある観光農園「アルシエフェルム」では、手入れが行き届いた果樹が整然と並び、色付いた実が収穫を待っていた。

80アールの畑で作られているのは、ブルーベリー20数種、サクランボ10数種、ハスカップ数種のほか、玉葱やビーツ、豆類などの野菜が約30種類。手入れの方法がそれぞれ違うさまざまな品目を、6人で管理する。

31年間営んできた建設会社を子息に託し、就農したのは62歳の時。もともと野菜作りに興味があり、家業を営む傍ら中小企業家同友会「農業経営者部会」に所属、各地の農家を訪れた。「同じ品種でも、生産者によって全然味が違うんです。作り手の思考が投影されるのかと思いました」

家庭菜園を始めたものの上手

く育たず、その難しさを知り、

コツや美味しくなる秘訣を「もっと知りたい」と思った。そこで翌年、市民農業講座「さっぽろ農学校」を8ヶ月間受講。

実習では70㎡の畑が与えられ、何を作るかは自由。安全・安心なものを口にしたいたいと考え、無農薬栽培での葉物や根菜に挑戦したが、そこでもまた難しさを味わった。

「そんな時にブルーベリーの圃場研修があり、無農薬でも鮮やかに実っているのを見て挑戦する気持ちが湧きました」

片手間ではなく、腰を据えて取り組もう……。そう決意し、土地を探して農業生産法人を設立した。

情熱は開拓者のごとき

「サクランボの樹が数十本あっただけで、あとは笹藪。開拓者みたいでしたよ」

小仲さんの農業は、畑を整地するところから始まった。粘土地には火山灰や土を入れ、ブ



1. リピーターも大絶賛の彩り鮮やかな果物たち 2. 主に直売を担当している後継者の瑞紀さん(右)と一緒に 3. 収穫の日を迎えたみずみずしいゴーヤ 4. 少量多品目の野菜が並ぶハウス。日々その生長を感じながら見回るのが日課 5. 直売用のブルーベリーを収穫する小仲さん 6. テラスから望む、ブルーベリー畑越しの八剣山

ブルーベリーの土壌は酸性にするため、硫黄とピートモスを大量に投入。すぐに千本程の苗を植え

たが植付け方に問題があった。「なんで?と悩みますよね。農家の先輩にアドバイスをもらって、翌年に全て植え直したの」

植付け方を変更してからは、少しずつ収量が向上。当初からブルーベリーと野菜には一切農薬

を使用せず、堆肥を自作して春にすき込む。気候によって発生

する害虫は、人を雇ってでも全て手作業で駆除する徹底ぶりだ。

サクランボだけは減農薬。開花の時期に駆除しきれない虫が

入るため、やむを得ず使用しているが、使用は必要最低限に抑

える。新規来園者には、無農薬・低農薬栽培であることを伝えるようにしている。食品添加

物の多い時代。「安心」を理由にリピーターになるお客様も多い。

のんびり、
くつろげる場を

観光農園として、果物狩りや直売を行なうほか、バーベキューコーナーを提供している。屋根付きのテラスからの風景は、畑越しに八剣山が望める。

「天気や時間を気にせずに、のんびりして欲しい」

アルシエフェルムとは、フランス語で「命を繋ぐ箱舟・農園」を意味する。目前に広がる豊かな自然の中でゆったり流れる時間は、柔らかな発音のこの言葉がとても似合う。

野菜は全て小仲さんが作ったものを提供するが、その他の食材は持込も可能。予約時の希望に応じて、肉や炭入りの七輪など必要なものを用意する。全ては喜んでもらいたいから。そのため

の苦労をいとわない。「お客様と触れ合うのが楽しいんです。皆さんに教えられ、助けられ、ここまで来ました。

お客様の何気ない一言から気付くことがあったり、これからも感謝と共に努力していきたい」

今後の展望を尋ねたところ、今はスタッフの一人である娘の瑞紀さんが後を継いでくれる予定であり、設備や環境などを整備していききたいという答えが返ってきた。目を見張る行動力でこの農園を作り上げてきた小仲さん。母娘の力で、さらに笑顔溢れる空間となった農園の姿が目に浮かんだ。

第26回 通常総代会

J Aさっぽろの第26回通常総代会が、6月28日(金)午後2時より共済ホールにて開催されました。総代出席者は、本人出席230名、書面議決418名、委任出席0名の合計648名。開会宣言後、左記の次第に沿って進められました。

- 次第
- 1 開会
 - 2 J A綱領唱和
 - 3 代表理事組合長挨拶
 - 4 来賓祝辞
 - 5 議長選出
 - 6 書記の指名
 - 7 議案審議
 - 8 閉会

代表理事組合長挨拶抜粋

昨年の地域農業につきましては、例年並みの積雪に加えて3月の高温傾向により雪解けが非常に早く、春作業は順調に推移しましたが、その後、その後の少雨や夏の記録的な猛暑の影響を受け、一部作物では出荷量の減少、および品質の低下等の影響を受けました。

品目別では、玉葱については高温の影響を受け、全道的に不安定な作



出席いただいた組合員に対し、挨拶を述べる軽部組合長

柄となりました。販売状況については、販売開始当初はやや安値傾向でしたが、秋以降は北海道産の品薄が相場の上昇を招き、高値傾向での取引が続きました。

水稲につきましては、出穂期以降に高温傾向が続き、登熟が順調に進んだことで石狩管内の作況指数は104のやや良となったものの、期待される収量に至らない状況となりました。

改めて、生産者の皆さまがこのように厳しい状況の中、不断の努力をされていることに対して感謝と

敬意を表するところです。

昨今の農業を取り巻く情勢は、国際紛争による原料供給国からの輸出停滞、原油価格の上昇、円安の進行などによる肥料・飼料・燃油等の農業生産資材の高騰によって非常に厳しい農業経営を強いられており、今回成立した新たな「農政の憲法」と言われる「改正 食料・農業・農村基本法」のもとで、持続的な農業経営の後押しや将来が見通せる農政を大いに期待するところです。

同時に、我々が果たす役割を再認識しこれからの進むべき道を見極め、次世代にしっかりと引き継げるよう皆さまと共に取り組んでいくことが大切と気持ちを新たにすることをします。

このような諸情勢の中、令和5年度事業につきましては組合員皆さまのご支援に支えられ、事業計画を大きく上回る成果を収めることができ



議長を務めた平岸地区の北村晃一さん

ました。

事業の概要につきましては、後ほど詳細を説明させていただきますが、要点をいくつか申し上げますと、事業総利益では、40億3,900万円、人件費をはじめとした事業管理費は、35億2,100万円を計上し、事業利益は、金融・共済事業と相談事業が利益を牽引した結果、5億1,800万円となり、新J Aプランで掲げております計画を上回る利益を確保することができました。



このことは、組合員各位のJA事業に対する深いご理解とご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

これらの結果を踏まえまして、最終的な剰余金処分案につきましては、当期未処分剰余金11億8,000万円について、法定積立金のほか、固定資産リスク準備積立金などの任意積立金の合計で5億200万円を内部留保し、自己資本の充実を図ってまいります。

なお、組合員皆さまの出資金に対する配当は1%、肥料・農薬のご利用分に係る還元も含めた事業利用分量配当は、4,500万円とし、本総代会に上程させていただきます。

令和6年度は「第5次中期3カ年経営計画」の実践最終年度となります。昨年10月の旧JAいしかりとの



合併により、新生JAさっぽろとして新たなスタートを切りましたが、相互の人材と事業運営のノウハウを結集し、それぞれの組合員や地域住民の多様なニーズに応えられる、バランスの取れた組織づくりに向けて取り組むと同時に、重点テーマとして掲げた「農業の持つ価値の発信」を着実に推し進め、総合事業を生かした農業振興の実践に取り組んでまいります。

結びになりますが、本年が大きな自然災害などに見舞われることなく天候に恵まれ、実り多い出来秋を迎えられることを皆さまと共にご祈念



質疑に答える丸岡専務理事



監査報告を行なう荒井代表監事



申し上げ、開会に際しましてのご挨拶とさせていただきます。

副組合長の決定について

旧JAいしかりとの合併に伴い締結した合併契約書に基づき、令和6年7月から代表理事副組合長が2名から1名に変更になることより、総代会終了後に開催された臨時理事会において、須合経一氏(厚別地区)が提案され決定しました。中村武史氏(石狩地区)は代表理事副組合長を辞任し、非常勤理事に就任しました。

議案

- 議案第1号 『肥料共同購入積立金要領』の一部変更について
 - 議案第2号 『固定資産リスク準備積立金要領』の一部変更について
 - 議案第3号 令和5年度事業報告、剰余金処分案の承認について
 - 議案第4号 令和6年度事業計画の設定について
 - 議案第5号 『定款』の一部変更について
 - 議案第6号 『(定款附属書の2)総代選挙規程』の一部変更について
 - 議案第7号 『共済規程』の一部変更について
 - 議案第8号 役員報酬の支給について
附帯決議一件
- 皆さまにご協力・ご理解いただき、全て原案通り可決決定され、午後4時50分に閉会いたしました。



J A 綱領唱和

令和6年度

第1回地区別懇談会 Q & A

6月11日(火)から14日(金)にかけて、全14地区で地区別懇談会を開催いたしました。各懇談会には、常勤役員および参事・各室部長が2班に分かれて出席し、令和5年度の決算事業報告を行なった後、ご出席いただいた組合員の皆さまより貴重なご意見・ご質問をいただきました。

経営企画部門

Q1 支店再編等の経営合理化について、検証はしないのですか。

(手稲・豊平・北札幌・新琴似地区)

A 支店再編や経済部門の合理化については、令和5年度は期中合併もあり、具体的な数値を示し回答できる根拠が不十分であるため、令和6年度末で総括したいと考えております。

Q2 損益計算書中の「特別利益」と「特別損失」の詳細を教えてください。

(平岸地区)

A 特別利益については、篠路駅東側にある倉庫群の一部解体に係る札幌市からの移転補償金が大部分を占め、その他に石狩のベジタブルファクトリーの是正工事に係る費用と混麦問題の処理費用が見込んでいた金額以下に収まったことに伴う差額分と、合併に伴うJA北海道中央会からの特別奨励金等が計上されております。

方、特別損失については、篠路駅東側にある倉庫群の一部解体工事費用が大きく計上されております。

Q3 石狩の金融店舗2店舗について、今後の扱いはどうなるのですか。

(手稲地区)

A 旧JAさっぽろと同様に、石狩地区も統括支店1店舗に統合することは決まっております。合併契約書の中でも明記されており、令和7年4月までの理事会で決定



厚別地区

することになっております。今後、金融部門で大規模なシステムの変更が予定されており、タイミングを考慮しながら、具体的な方向性を示してまいります。

総務部門

Q1 「固定資産リスク準備積立金」を20%から30%へ引き上げる理由は何ですか。

(琴似地区)

A 旧JAいしかりとの合併に伴



豊平地区

い、固定資産が増加しており、将来的に固定資産の評価が下がる減損損失処理をすることになりますので、そういったリスクに備えるために積立をするべきと考えており、限度額を引き上げることといたしました。

Q2 正組員(個人)における、耕作面積等の資格要件はありますか。(厚別地区)

A 正組員(個人)の資格要件は定款に規定されており、以前は耕作面積等の要件がありました。現在は1つ目の要件として、農業を営む個人であり、その住所または経営に係る土地、または施設が組合の地区内にあること、もう1つは1年のうち60日以上農業に従事する個人であり、その住所または経営に係る土地、または施設が組合の地区内にあることとなっております。

Q3 7月以降の役員人事について、副組合長は1名体制ということでしょうか。(豊平地区)

A 合併契約書の通り、7月から副組合長は1名体制となります。

Q4 合併してから旧JAいしかりの人事異動がわからないので、わかるようにしてほしいのですが。(石狩八幡地区)



手稲地区

た、このままの状況が続くと、離職者が増えるのではないかと心配しております。(北札幌地区)

A 支店統合後に業務量が増えている部署もあります。毎年新卒採用をしておりますが、中途退職者も増え、必要な人数と人材を確保できていない状況になっており、2次募集や準職員を採用しているところがあります。

Q6 最近SDGsへの取り組みをしている企業が多い中、当JAもペーパーレス化について検討はできないのですか。(白石地区)

A SDGsへの取り組みとして「会議体のペーパーレスをより充実させる」とあります。現在、会議体のペーパーレス化に向け業者等と協議を重ねており、タブレットの更新も含め検討し、取り組むところであります。

Q5 支店統合後、業務量と職員の人数の均衡がとれていない部署があるように思いますが、今後補充等は考えているのですか。ま



篠路地区

Q7 若い職員の離職率は、現状どうなっていますか。(平岸地区)

A 離職率は高くなってきております。今後は中途採用も検討してまいります。

Q8 ヘルプラインの運用状況について教えて欲しいのですが。(手稲地区)

A 当組合のヘルプライン制度は、

金融部門

通報窓口として「J A内ヘルプライン」と「全国J Aヘルプライン」を設置しております。最近ではヘルプラインへの通報はございません。

Q1 農林中央金庫に関する報道がありました。当J Aへの影響はあるのですか。(平岸・手稲・厚別・新琴似地区)

A 当J Aが北海道信連および農林中央金庫から増資を求められることはないと聞いております。

尚、報道では、令和6年度決算で大きな赤字を計上する見込みとのことですが、低い利回りの米国債券等を入れ替えて、将来の財務基盤を強化するための戦略的な対応と聞いております。

Q2 昨今の経済状況を鑑みると、金融部門は厳しい状況だと思



石狩八幡地区

Q3 貸出金の中に不良債権はありますか。(平岸地区)

A 破産更生債権およびこれらに準ずる債権額は約1億87百万円、危険債権額は約60百万円となっており、不良債権比率は0.385%まで減少しております。

Q4 地方公共団体向けの融資について、資金用途等の内容について教えてください。(平岸地区)

A 資金用途は事業資金であり、貸付期間は最長で15年となっております。融資に際しては、財政状況を十分に確認しており、貸倒れとなるリスクが極めて小さいことから取り組んでおります。

A 令和4年度対比で、貸出金の伸長が約165億円あります。そのうち合併による旧J Aいしかりからの貸出金が約110億円であり、残りの約55億円が純増となります。住宅ローンの新規実行が約49億円、札幌市への融資が25億円であったことなどが大きな要因となっております。

いますが、貸出金が伸長した要因は何ですか。(新琴似地区)

Q5 法人税をダイレクト納付した際、J Aの口座が登録できないため他金融機関に新たに口座を開かせざるを得ませんでした。今後、J Aの口座も登録できるよう

になるのでしょうか。(平岸地区)

A 現在、北海道信連を通じて農林中央金庫へ今後の方向性等を確認中ですが、現段階ではシステム面の課題もあり、取り扱いは難しい状況と聞いております。

共済部門

Q1 共済の事業計画において、長期共済保有高が前年より減少している要因は何ですか。

(琴似地区)

A これまでは死亡保障を重視した契約が多かったのですが、現在は医療共済・介護共済等の、生存中に共済金を受け取れる契約や運用商品にニーズがあり、満期や払込終了を迎えた共済は、これまでのような大きな死亡保障のある契約とはなりにくいこと、以前よりも運用利回りが低くなっていること等を踏まえて計画を策定いたしました。



中央地区

Q2 自動車共済をクレジット払い扱いで手続きしましたが、そのために割引がきかなくなりましたが、キャッシュレスの時代なのに、キャッシュレスにしたことで割引がきかなくなるのは、いささか疑問です。また、クレジットカードが使えるようになったと言われましたが、使える共済と使えない共済があり、曖昧で分かりにくいです。

(北札幌地区)

A 共済の取り扱いについては、

当JAで設定できないため、共済連へ要望してまいります。掛金の割引条件等、制約があるのはカード利用時の手数料の関係によるものと思いますが、それを見込んだ掛金設定、現金払い・クレジットカード払いとも変わらずご利用いただけるよう要望してまいります。またクレジットカード払いを使えるか使えないか分からないような状態についても、改善するよう要望してまいります。

相談部門

Q 組合員の高齢化が進むと相続問題や税務関係がインボイス等で頻雑となることから、相談課からの適切なアドバイスを含め、充実させて欲しいと思います。

(白石地区)

A 相談事業に関して今年度もより充実させ、よろずサポーターが組合員の相続・税務相談に対応させてまいります。

経済・営農販売部門

Q1 農業振興計画で掲げた取り組みの中で、「次世代農業者の育成支援」とありますが、具体的にどのような支援をしているのですか。

(新琴似地区)

A 旧JAいしかりでは、行政と連携して新規就農者へのミニトマト作付等の育成支援をしており、JAさっぽろでは行政と連携し



新琴似地区

て、新規就農者への営農相談等の支援をしております。

Q2 令和6年度の事業計画(経済事業)の中で、有利販売の提案等の実施とありますが、具体的な内容を教えてください。

(新琴似地区)

A 組合員の営農形態に合わせてインショップの販売や、量販店への相対販売等を提案しております。

Q3 経済部門の赤字を縮小していく考えはあるのですか。また合併後、経済部門の職員は80名近くおりましたが、このままの人数を維持していくお考えですか。

(琴似地区)

A 経済部門については、まずは合併して札幌と石狩の生産組合員への対応をしっかりと果たすことを優先に考えておりますので、職員数もその上で配置しております。



平岸地区

旧JAさつぽろにおける経済部門の合理化は赤字を縮小する目的ですので、今後も常に意識しながら取り組んでいかなければならないと思っております。

Q4 「とれたてっこ西」直売所は、どこに店舗があるのですか。営業時間や取り扱っている農産物等についても教えてください。

(西町地区)



石狩花畔地区

A 「とれたてっこ西」直売所は手稲支店に隣接しており、営業時間等については、当JAのホームページおよび広報誌をご覧ください。尚、時期によって取り扱う農産物等が変わりますので、詳しくは直売所までお問い合わせください。

Q5 経済事業の報告の中で「生産者所得の向上のため量的販売拡大」等とありますが、市場の価格

が上がらない限り生産者の所得は上がりません。合併して事業規模が大きくなったので、組合長自ら市場へ価格交渉に出向くなど、北海道全体の農産物の価格を上げて生産者の所得が上がるような取り組みをお願いしたいと思います。また他JAでは職員を市場に派遣し、有利販売につなげていると聞いたことがあり、是非参考にして取り組んでいただきたい。

(石狩花畔地区)

A 他JAの事例を参考にしながら、より有利販売につながるよう考えてまいります。

Q6 共同利用施設の利用料について、減価償却費等の固定費は利用している各部会に振り分けられており、5年毎に見直すことになっていきます。部会によっては、出荷量が少なくなれば利用料は上がることになるため、設定基準を考慮していただきたいと思えます。

(石狩八幡地区)



白石地区

A 現在の施設利用料については、旧JAの農業施設の利用料徴収の考え方が違うため、今後の課題として、部会の皆さまのお話を聞いた上で検討してまいります。

Q7 現在の経済部の体制だと、購買品注文後の翌日配送となっており、生産者として当日必要な資材関係が手に入らないのは不便利です。今後改善する考えはないのですか。
(豊平地区)



琴似地区

A 経済部門の合理化に伴い現在の体制となり、資材等の購買品を当日配送できずに組合員の皆さまにご不便をおかけしていることは認識しております。引き続き合理化後の総体的な費用対効果を検証し、慎重に検討してまいります。

Q8 当地区は全体的に鳥獣被害が多く、農業所得の向上につながりません。昨年は今までのように鹿や熊だけでなく、鳥による被害

も増え、対策に苦慮しています。JAとしての取り組みや支援について、どのようにお考えなのかお聞かせ願いたい。
(南地区)

A 当JAとして昨年度は猟友会や行政と連携し、鹿の追い込みを2回実施しました。札幌市も鳥獣対策費として、鳥獣処理の冷凍庫の設置や、国費でのハンター支援等、動きやすさを重視した対策を検討中ですので、今後、組合員の皆さまのご意見を参考にしながら、行政と一体となって有効な手段を講じてまいります。

Q9 経済部について、毎年のように組織が見直されており、営農販売部は石狩が拠点となっており、今後の方針についてお聞かせ願いたい。
(手稲地区)

A 昨年10月の合併に伴い、現在は丘珠が経済部、八幡が営農販売部として2拠点体制となっております。まだ決めなければなりません。



北札幌地区

事項や共有しなければならぬ事項が大変多いため、本年度中にまずは足並みを揃え、令和7年度からの農業振興計画を策定する中で、経済事業の方向性を定めさせていただきます。

※プライバシーに関する質問や、過去同様の質問につきましては割愛させていただきます。



団体優勝を果たした石狩地区の皆さん。

7/10(水)

合併後初となる「JAさっぽろ親睦パークゴルフ大会」開催 団体の部は、石狩地区が1打差で優勝！



第21回JAさっぽろ親睦パークゴルフ大会が札幌パークゴルフ倶楽部福移の杜コースで開催され、各地区から108名（男性69名、女性39名）の組合員の皆さんが参加しました。当日は、夏の太陽がじりじりと照りつける晴天で、熱中症対策に水分補給をしつかり行ないながら各ホールで熱戦が繰り広げられました。

コースコンディションも良好で、例年同様ハイレベルな戦いが繰り広げられた結果、わずか1打差で石狩地区が団体優勝！個人戦男性の部では、北札幌地区の山坂隆二さん、女性の部では、西町地区の山田のり子さんが優勝を飾りました。

また、ホールインワン賞も12名の方が達成しました。

感染対策のため表彰式の実施は見合わせ、入賞地区と入賞者へは後日、賞状やトロフィーが贈呈されました。

大会結果

*（）内の数字はスコアです。
*個人の部、同点の場合は生年月日の早い方が上位となります。

■団体の部

- 優勝 石狩地区(731)
- 準優勝 手稲地区(732)
- 第3位 篠路地区(737)

■個人の部(男性)

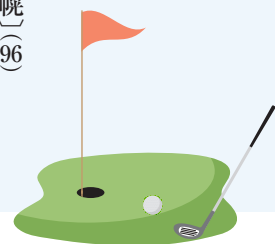
- 優勝 山坂隆二さん(北札幌)(96)
- 準優勝 加藤忠司さん(白石)(96)
- 第3位 岡崎義勝さん(石狩)(100)

■個人の部(女性)

- 優勝 山田のり子さん(西町)(102)
- 準優勝 岡崎君子さん(石狩)(103)
- 第3位 石橋美恵子さん(篠路)(104)

■ホールインワン賞

- 中野敬子さん(平岸)
- 金山登さん(白石)
- 佐々木孝春さん(白石)
- 福田廣一さん(手稲)
- 吉村紀さん(手稲)
- 松谷きみえさん(中央)
- 柏原美弥子さん(厚別)
- 道下玲子さん(厚別)
- 亀田秀幸さん(北札幌)
- 石橋美恵子さん(篠路)
- 山倉峰雄さん(篠路)
- 堀尾繁雄さん(篠路)



女性部 本部

5/28(関)
~30(関)

6年ぶりの道外視察研修旅行実施
地域・企業・人と人を繋ぐ「食と農の研修」

本部役員14名・広域女性理事2名が参加し、6年ぶりとなる道外視察研修会を長野県で実施しました。

初日はあいにく大雨が降る中、大王さび農場や信州石井味噌蔵などを見学。翌日はJA信州諏訪が運営する「夢マーケット文出」や直売所を訪問した他、研修のメインとなる「カゴメ野菜生活ファーム富士見」を見学しました。最新技術を活用した野菜飲料の工場見学や、目の前の畑で収穫された旬の野菜を使った本格イタリアンレストランでの食事に終始感動しきりでした。

最終日には、古来より「一生に一度は訪れたい場所」として多くの参拝者が訪れる名刹・善光寺を参拝し、たくさんの思い出とお土産を抱え、終始笑顔の絶えない有意義な研修を終えました。

菅原部長は「6年ぶりに道外視察研修を開催できたことが何より嬉しいです。また、本部役員の皆さん、カゴメ(株)の皆さんにも全面協力いただきなど様々な繋がりに感謝いたします」と話していました。



初日の夜。信州野菜、サーモン、ポーク、ワインといった魅力的な「信州食材」や地酒に舌鼓みを打ちながら、会話も弾みました。



ハケ岳の雄大な自然を背景に、農業・工業・観光が一体化した体験型の野菜のテーマパーク、「カゴメ野菜生活ファーム富士見」にて。

6/26(関)

JAようてい女性部真狩支部と交流会開催
特製豚汁とレタスのサラダでおもてなし

厚別支店3階JAホールにて、JAようてい女性部真狩支部16名と本部役員19名が参加し、交流会を行いました。

この交流会は、昨年11月に開催された「北海道家の光大会」で鳴知子副部長が行なった、「家の光記事活用体験発表」をきっかけに実現。女性部本部の活発な活動を交えて行なったスピーチを聞き、より詳細な活動内容を知りたいとの依頼を受け、研修旅行で来札する行程のなかで交流しながらお伝えする場を設けました。

そのような経緯で来所する真狩支部の皆さんに、おもてなしの気持ちを伝えたいとの本部役員の意向で、スピーチの中にも紹介された「女性部特製豚汁」に加え、「JAさっぽろ産レタスのサラダ(オリジナル玉葱ドレッシング)」を用意。20分程度の活動報告を終えた後、豚汁とサラダをいただきながら活動内容について意見交換し、交流を深めました。



それぞれのJAの部員が向かい合って座り、交流を深めました。

2時間の交流会を終えて。真狩支部の皆さんからは、「活動内容を参考にしたい」「豚汁もサラダも本当に美味しかった」との言葉をいただきました。





【札幌地区予選】

- 1回戦 シード
- 2回戦 GRANDSLAM(8-1)
- 3回戦 札幌市役所(8-1)
- 準決勝 北海道赤十字血液センター(5-3)
- 決勝 EP札幌(14-2)

【南・北海道大会】

- 1回戦 苫小牧市消防署(8-5)
- 2回戦 ecoaHouse(8-7)
- 準決勝 JAようてい(3-4)

札幌支部大会
優勝！

(後志)に3対4のサヨナラ負けを喫し、惜しくも三位となりました。

22チームが出場した天皇賜杯札幌支部大会。当JA野球部は順当に勝ち進み、野幌軟式球場で行なわれたEP札幌との決勝戦に14対2で勝利し、札幌支部代表として南・北海道大会への進出を決めました。

千歳市で行なわれた南・北海道大会には、各支部を勝ち抜いた14チームが出場。ecoaHouse(千歳)との2回戦では、9回で決着がつかず、4対4のまま延長戦へ突入。両チーム譲らず、延長12回からは無死1塁・2塁から始まる促進ルールが採用され、延長17回、後攻の当JA野球部が8対7のサヨナラ勝ちを収めました。

同日行なわれた準決勝では、JAようてい

5/25(土)~7/1(日)
JAさっぽろ野球部
天皇賜杯札幌支部大会優勝！
南・北海道大会では3位に



作業委託受付中！

ドローンをはじめ無人ヘリコプター防除やラジコンボートによる水田防除など組合員皆さまのニーズに合わせた作業を実施しております。詳細につきましては営農販売部 営農課へお問い合わせください。(TEL: 0133-66-3344)

秋小麦の防除が、ドローンで実施されました。防除作業の省力化を目的に13名の生産者から依頼を受け、約190haに農薬を散布。殺虫・殺菌の混合剤を使用して2回行なわれる散布は、営農課の職員3名が一組となり、農業改良普及センターや米麦課と協議のうえ、天候を勘案し行ないました。

今年は春先の天候が良く、適度な降雨もあつたため、小麦の生育は順調に推移。7月18日頃から収穫が始まる予定です。この後は、春小麦や水稲のドローン防除が予定されています。

(池田特派員)

5/31(金)~7/7(日)
営農販売部 営農課
秋小麦のドローン防除が最盛期
13名の圃場、約190haで実施

翌日は青空の下で小樽運河クルーズに乗船。運河や周辺建造物の歴史を学び、全ての行程を終え笑顔で帰路につきました。

(小山特派員)



ホテルノイシュロス小樽 玄関前で。

女性部白石支部(田中美恵子支部長)では、ニセコ・小樽方面へ1泊2日の研修旅行を実施し、部員17名と職員2名が参加しました。

ニセコ高橋牧場で地元産トマトを使ったキーマカレーや飲むヨーグルトをいただいた後、小樽の田中酒造で酒造りの製造場を見学。純米酒や甘酒などの試飲をしました。宿泊先であるホテルノイシュロス小樽は高台にあり、三方から日本海を見渡せる絶景。夕食は海外のリゾートホテルのように贅沢な空間で創作フレンチのフルコースを楽しみ、全室に完備されているオーシャンビューの露天風呂で、それぞれ癒しのひとときを過ごしました。

6/11(火)~12(水)
女性部 白石支部
ニセコ・小樽方面へ
5年ぶりの宿泊研修旅行



大満足の作品に
仕上がりました！



女性部新琴似支部では、部員8名と職員2名が参加し、5年ぶりに手芸サークル講習会を実施しました。

今回の講習会は、部員の沼田道子さんが講師を務め、「苔のテラリウム」を制作。ガラス容器の中に苔や小石、石灯籠などの素材を思い通りに配置し、1時間半程度の作業で、ひとりひとりの個性が光るテラリウムが完成しました。

菅原利恵支部長は、「5年ぶりの手芸サークルでしたが、談笑しながら作成することができ、個性を活かした作品が完成しました」と話していました。

(山崎特派員)

6/17(月)

女性部 新琴似支部
手芸サークル講習会を実施
談笑しながら苔のテラリウムを制作

6/19(水)

青年部(篠路支部・木田和良さん)
FMで札幌産レタスをPR
都市農業の持つ役割も語る



木田和良さん(左)と、パーソナリティで作家の森久美子さん(右)。スタジオには木田農園の朝採れのレタスが用意され、「葉の一枚一枚から感じる新鮮さに感動！」と森さん。

豊平区平岸のコミュニティFM・FMアップル(76.5MHz)の「農業と食がつむぐ未来」の生放送に、篠路支部・木田和良さんが出演しました。

この日の放送は「とれたての野菜を食卓へ」がテーマ。主にレタスを生産する木田さんは、消費地に近い札幌で生産・販売を行なうことに対するこだわりについて話しました。

また、「農業者としてできる地域の防災対策」や、「都市農業の持つ災害時の役割」について持論を展開。災害時に食料の供給を行なうほか、農地を避難場所として使ってもらえる仕組み作りをしていきたいなど、想いを伝えました。

木田さんは、「新鮮で安全・安心な野菜を届けることはもちろん、災害対応についても他の農業者と連携を図っていきたい」と話していました。

6/20(木)

女性部 南支部
毎年恒例！イチゴ狩り・昼食会
今後の行事への英気を養う



高島観光ファームにて。

女性部南支部(荒井三和支部長)では、毎年恒例のイチゴ狩り・昼食会を実施し、部員26名と職員2名が参加しました。

南支店組合員・櫻井るり子さんが経営する櫻井農園で行なったイチゴ狩りは、小雨が降る中ではありましたが、ハウス内は至る所で部員の楽しそうな声が聞かれ、旬のみずみずしく甘いイチゴをお腹一杯いただきました。

いちご狩りの後は、同じく同支店組合員・高島政弘さんが経営する高島観光ファームでジנגスキャン。和気あいあいとした雰囲気の中で会話も弾み、とても楽しい時間を過ごすことができました。この一日を通じて部員同士の親睦はさらに深まり、今後の支部行事へ向け、英気を養うことができました。

(尾張特派員)



石狩の冷涼な気候で生育したえんどうは、販売先から高い評価をいただいています。

6/24(月)

石狩ベジタブルファクトリー サヤエンドウ・スナップえんどう 共撰開始！

サヤエンドウとスナップえんどうの共撰が始まりました。今年は5月下旬から低温傾向となり生育が心配されましたが、共に生育は順調で、昨年より2日早い開始となりました。

6月20日(木)に行なわれた現地検討会では、花畔・北生振地区の圃場を巡回。生育や着果状況を確認し、共撰開始予定日を決定しました。今年度の共撰は生産者9名、作付面積はサヤエンドウ360a・スナップえんどう100aで行なわれ、10月下旬までの予定。札幌市場のほか、道外(青森・東京・大阪・愛知・神奈川県・徳島・香川・福岡)の10市場に販売する予定です。
(金安特派員)

6/25(火)

女性部 西町支部 日帰り研修旅行in富良野 見頃を迎えた花に夏を感じる1日

女性部西町支部(竹本美知子支部長)では、富良野への日帰り研修旅行を実施し、部員11名と職員2名が参加しました。

「ファーム富田」「かみふらのフラワーランド」では、ラベンダーやサルビアなど、見頃を迎えた花々が広大な敷地に広がっており、夏を感じる一日となりました。後藤純男美術館では、日本画家として活躍したその半生を学びながら、数々の作品を鑑賞。レストランを併設している同館で、富良野和牛と上富良野ポークの合挽肉を使用したハンバーグ、季節野菜のサラダなど、地元産の食材を使用したコース料理を楽しみました。

松井かよ子副支部長は、「自然に囲まれた空間に癒されました。普段は触れる機会の少ない日本美術に感銘し、新鮮な一日となりました」と話していました。
(佐々木特派員)



ファーム富田にて。

6/27(木)

平岸支店 1統括支店1協同活動 奥内理事指導のもと りんご並木で 児童が袋掛け作業



平岸地区のシンボル・白石美園環状通にあるりんご並木で、奥内尚史理事指導のもと、美園小学校4年生がりんごの袋掛け作業を実施し、職員3名がその補助を行いました。

この作業は同校の総合学習の一環として行なわれており、かつて平岸地区で盛んに作られていたりんごの歴史を学びながら、実際に作業の一部を体験するというもの。りんご並木の手入れは、平岸青壮年部がその一端を担っており、児童は奥内理事から袋掛けのコツを教わりながら作業を体験しました。

8月下旬には袋を外し、文字入りりんごを作るためのシール貼りを行なう予定。児童からは「難しかったけど、楽しかった」「次の作業が待ち遠しい」という声が多く聞かれました。
(柳橋特派員)



切り込みの入った新聞紙で、枝を挟むように袋をかける子どもたち。

6/27(木)

女性部 篠路支部

余市方面への日帰り研修実施
大満足の1日に

女性部篠路支部(嶋知子支部長)では、部員13名と職員2名が参加し、余市方面への日帰り研修を実施しました。

余市のさくらんぼ山観光農園でさくらんぼ狩りを行ない、佐藤錦・紅秀峰など好みの味を求めて楽しんで後、仁木神社では、ニキ・ヒルズ・ワイナリーとの御縁で境内のあちこちにある、ワインにちなんだ奉納品を見て歩きました。「マル」の中に「和」と書いてワイン(輪・イン)もしくは令和(レイ・和)と読ませる洒落の効いたお守りも販売されておりました。

昼食は鮭ビュッフェダイニングぶじにて食べ放題を満喫。小樽を散策し、白い恋人パークにも寄り、大満足の一日となりました。

(真鍋特派員)



6/28(金)

石狩ベジタブルファクトリー
ミニトマト 共撰開始!

ミニトマトの共撰が始まりました。今年には生育が順調に進み、昨年同様の開始日となりました。

6月20日(木)に行なわれた現地検討会において、生育状況の確認と今後の天候による生育や実の色付き予想を行ない、共撰開始日を決定しました。

今年度の共撰は、新規就農の出荷者が2人を含む生産者18名、作付面積502.5a(ビニールハウス156棟)で行なわれ、11月中旬までの予定。販売先は主に道内外の市場および札幌市内の量販店の予定です。

(金安特派員)



石狩で収穫された高品質なミニトマトを、道内外の消費者へお届けします。

6/29(土)・7/6(土)

平岸地区組合員 古川貴朗さん
STVラジオ出演
養豚に対する想いや
飼育へのこだわりを語る

STVラジオ「田中賢介のアフタースクール」に、平岸地区組合員・古川貴朗さんが2週にわたり出演しました。

この番組は、北海道日本ハムファイターズのスペシャルアドバイザーを務める田中賢介さんが、ファイターズ情報のほか教育や食への想いを伝えるのがコンセプト。今回は古川農場の古川貴朗さんが、札幌唯一の養豚場で養豚を営むことに対する想いや、飼育へのこだわりについて話しました。



古川貴朗さん(右)と、パーソナリティの田中賢介さん(中)、奈良まなみさん(左)。放送では、実際に田中賢介さんが古川ポークのソーセージを試食「これは贅沢!番組で試食したなかで一番おいしい!」と大絶賛。



生育状況によっては予定変更の可能性もありましたが、日頃の行ないの賜物！真っ赤ないちごが楽しめました。

栗山監督もWBC前に必勝祈願に参拝したという仁木神社を見学後、余市ワイナリーで買い物、お昼は鮭ブッフエダイニングふじでお寿司を堪能しました。菅原利恵支部長は、「雨で風も強く心配しましたが、予定通りいちご狩りもでき大満足の一日になりました」と話していました。(山崎特派員)

7/1(月)

女性部 新琴似支部

余市方面への日帰り研修旅行
いちご狩りを楽しむ

7/2(火)

青年部 本部

厚生病院内で農産物PR
5JA青年部が連携し開催

5JAの青年部が連携し、「札幌厚生病院とのふれあいマルシェ」を開催しました。この取り組みは、JAグループ内へ「石狩管内の農産物・加工品の魅力」の再認識を図り、地産の重要性への理解を深めることを目的として、石狩地区農協青年部連絡協議会が中心となり企画。初の開催となった今回は、厚生病院の職員向けのマルシェに各地区から多品目が出品され、大盛況となりました。JAさっぽろからは、小松菜やほうれん草といった葉物野菜のほか、飲むヨーグルトなどの加工品を出品。青年部員が販売を担当しました。大畑部長は「外部へはもちろん、グループ内へのPRも大事なことです。今後も石青協を通じて各JAと連携し、共に農業を盛り上げていきたい」と話しました。



来場した厚生病院の職員からは「ポーラスターとっても美味しいですね」「札幌産のニンニク楽しみです」という、嬉しい言葉をたくさんいただきました。

7/2(火)~3(水)

青年部 北札幌支部

室蘭方面へ視察研修旅行実施
有意義な2日間を過ごす

青年部北札幌支部(岩波信次支部長)では、室蘭方面へ道内視察研修旅行を実施し、部員8名と職員3名が参加しました。合同容器株式会社では、段ボールができるまでの工程や生産ラインを見学。見慣れない作業に興味津々でした。洞爺湖では遊覧船に乗り中島へ上陸。大自然のなかでゆっくり過ごした後、最後はウポポイ民族共生象徴空間にてアイヌ文化に触れました。大変有意義な2日間でした。(北村特派員)



ニューホランド株式会社を訪問。大規模なトラクターは迫力満点！熱心に説明に耳を傾けました



可愛らしい海の動物たちのショーを楽しみました。

女性部平岸支部(古屋妙子支部長)では、部員12名と職員2名が参加し、小樽・余市周遊日帰り研修旅行を実施しました。余市ではワイナリーでワインを試飲し、午前中からほろ酔い気分。酸味が少なく飲みやすい、香りの良いワインでした。次に仁木神社を参拝し、栗山監督が猷木さん「白梅」を見学。WBC世界の余韻に浸りました。

午後からは小樽水族館の見学、かま栄や新倉屋本店で買い物を楽しみ、大満足な研修旅行となりました。(庄原特派員)

7/4(木)

女性部 平岸支部
小樽・余市を周遊！
日帰り研修旅行実施



大畑部長(左)と、パーソナリティーの森久美子さん(右)。リスナーからは「スープカレー食べに行きます！」との声も寄せられました。

豊平区平岸のコミュニティFM・FMアップル(76.5MHz)の「農業と食が未来」の生放送に、青年部本部部長の大畑一郎さんが出演しました。

この日の放送は、「札幌の農業の誇りを未来に」がテーマ。大畑部長は、青年部が取り組んでいる、オータムフェストへのマルシェの出店や、飲食店とのコラボレーションによるスープカレーの販売など、大消費地・札幌の利点を生かした活動について、札幌農業の魅力を交えて話しました。

大畑部長は「これからも青年部の仲間同士で連携し、青年部の持つ価値を高めていく活動に取り組みんでいきたい」と話してくれました。

7/19(金)

青年部(本部部長・大畑一郎さん)
FMで青年部活動をPR
今後も価値を高める活動を

しのろとれたてっこ生産者直売所からのお知らせ

とうきび祭り 開催!

近隣で収穫された、甘〜いとうきびを販売!
「ゆで」ではなく「なま」の販売です。
お家で茹でて食べてください。
無くなり次第、終了です!
お早めにご来店ください。



日時 8月24日(日) 10:00~

場所 しのろとれたてっこ 生産者直売所
(店舗内ではなく隣接の倉庫内で開催します)

今年も10月に 大収穫祭 開催決定!

ちょっと先の話ですが...

昨年実施し、大盛況だった大収穫祭。
今年も開催決定!詳細は改めてご案内します。



お車でお越しのお客様へ…近隣駐車場の利用はご遠慮ください(当JA敷地内に駐車場あり)。




蛍光灯の製造・輸出入の廃止が決定! LED照明への切り替えが促進されています

皆さまのご家庭や所有物件で、蛍光灯を照明としてお使いの方もいらっしゃると思います。昨年11月に行なわれた、水銀添加製品の規制を定める「水銀に関する水俣条約」締約国会議において、一般照明用の蛍光灯の製造・輸出入を2027年までに段階的に廃止することが決定されました。

すでに使用している製品の継続使用や、廃止日までに製造された製品(在庫)の売買およびその使用が禁止・制限されるものではありませんが、今後、製造・輸出入の終了を見据え、在庫減少等が予想されます。国内の大手メーカーも蛍光灯の生産を順次終了しており、今後入手が困難になっていくと予想されるため、LED照明への早めの切り替えが促進されています。

廃止の時期

蛍光灯の種類ごとに廃止される時期が異なります

種 類	コンパクト形蛍光灯	直管蛍光灯	環形蛍光灯
廃止時期	2026年12月31日	2027年12月31日(※)	
写 真 (例)			

(※)直管蛍光灯と環形蛍光灯には一般タイプの「ハロリン酸塩系」蛍光灯とプレミアムタイプの「3波長形」蛍光灯との二種類があり、互換性があります。プレミアムタイプの「3波長形」蛍光灯の方が高効率でより明るい仕様です。「ハロリン酸塩系」が2026年末、「3波長形」が2027年末に、製造・輸出入が廃止されます。

一般照明用蛍光灯の表示例

- ①製品本体に付された品番が「F」で始まるもの
 - ②3波長形蛍光灯の場合、品番に「3波長形」または「EX」と印字されているもの
- これらの表示がないものは2026年末に製造・輸出入が廃止となる、ハロリン酸塩系の蛍光灯です。

(例) FL20SS/N18EX 3波長形 昼白色
20形

海外製品では品番の表記が異なることがあります。お手持ちの製品が蛍光灯かどうか分からない場合は、お近くの蛍光灯取扱店またはメーカーにお問い合わせください。

LEDの照明に変えると…

- ・消費電力量が少ないため節電ができる!
- ・寿命が長いので、経費を抑えられる!
- ・有害物質が含まれていないので環境保全につながる!



今回の記事は、環境省等のホームページより抜粋して作成しております。詳細につきましては、関連のホームページ等でご確認ください。

理事会だより

第3回定例理事会

令和6年6月26日(水)午後0時56分より本店3階役員会議室において第3回定例理事会が開催された。

●協議事項

1、令和5年度 決算監事監査回答書(案)について

令和5年度定期(決算)監査で指摘された、課題ならびに改善願いたい事項に対する回答内容が詳細に説明され、可決決定。

●報告事項

1、「第31回J A北海道大会」組織討議の実施について

2、地区別懇談会での質問・意見等の報告

3、反社会的勢力の排除対応管理先対処方針について

4、マネロン等の防止に係る対応状況について

5、不良債権経過報告

6、令和6年度 第2四半期余裕金等運用計画額および運用方針について

7、『農業受託実施要領』の制定に伴う受託作業単価報告

8、米麦乾燥調整施設作業事故の発生について

9、令和5年産「ななつぼし」異品種混入について

10、令和6年度 経済店別苗物販売実績報告

11、農作物の作況報告

12、5月末財務状況報告

13、5月末組合員加入・脱退状況および未済持分譲渡報告

14、6月の動静と7月の予定について

(閉会・午後3時06分)

第1回臨時理事会

令和6年6月28日(金)午後5時15分より共済ビル8階会議室において第1回臨時理事会が開催された。

●監事会報告事項

1、令和6年7月から令和7年6月までの各監事の報酬額の決定について

●協議事項

1、副組合長の決定について

旧J A いしかりとの合併に伴い締結した合併契約書に基づき、令和6年7月より代表理事副組合長が2名から1名に変更となることから、協議の結果、副組合長には須合経一氏(厚別地区)が提案された。尚、総代会終了時まで代表理事副組合長であった中村武史氏(石狩地区)は、代表理事副組合長を辞任し非常勤理事となることが説明され、可決決定。

2、代表理事の決定について

代表理事は、組織代表者である軽部幹夫氏と須合経一氏の2名としたい旨が説明され、可決決定。

3、組合長職務代理順位並びに理事会招集代理順位について

定款第35条第4～6項の規定による組合長職務代理順位、および定款第56条第2項の規定による理事会招集順位について提案され、可決決定。

4、令和6年7月から令和7年6月までの各理事の報酬額の決定について

総代会で決定した令和6年7月から翌年6月までの理事報酬総額並びに理事報酬総額にかかるとの個別理事報酬(案)が説明され、協議後、可決決定。

5、役員責任賠償保険の更改契約締結と保険料の一部負担について

役員賠償責任保険の概要、昨年の合併時に保険期間を令和5年10月1日から1年間としているが、契約の管理上、保険開始日を役員体制が整う総代会後の7月にすることが望ましいことから、前回と同額の保険金額で中途更改したいこと、および各役員が分担する代表訴訟特約保険料が説明され、可決決定。

6、北海道へ提出する行政庁用業務報告書について

農業協同組合法の定めにより、総代会終了後2週間以内に理事会の承認を得て行政庁へ報告することが義務付けられている事、記載事項についても省令で定められており、内容については総代会資料に連結財務諸表等を加えたものおよび内容が説明され、可決決定。

(閉会・午後5時38分)

令和6年6月末業務実績 令和6年5月末業務実績

JAさっぽろ DATA	組合員数	正組合員	3,823名	3,823名
		准組合員	34,756名	34,698名
	合計		38,579名	38,521名
	出資金残高	72億9千1百万円	72億8千1百万円	
	販売取扱高	3億6千2百万円	1億8千9百万円	
	購買供給高	9億1千万円	6億3千4百万円	
	貯金残高	3,713億7千4百万円	3,685億8千6百万円	
	融資残高	1,078億1百万円	1,071億1千9百万円	
	共済保有高	6,360億4千7百万円	6,366億2千1百万円	
	施設建設取扱高	3千4百万円	0円	
管理受託戸数	4,767戸	4,759戸		



今も昔もJA配置薬



家庭薬を配置している風景

「JA配置薬」は、開拓時代（大正十二年）にいわゆる家庭薬として農村部に浸透しており、産業組合によるクミアイ家庭薬の配給から始まりました。昭和二十八年にJA北海道厚生連のクミアイ家庭薬の取扱いを農協運営のもとで開始。昭和五十六年には農協からJA北海道厚生連に業務を移管しました。配置薬の定番でもある「マストチゲンドリンク」(昭和四十二年販売)や「かぜぐすりカプセル」(昭和五十八年販売)は、販売から四十年以上経った現在でも愛され続けています。日本の家庭薬と共に歩んできた「JA配置薬」は、これからも健康で豊かな暮らしを応援していきます。



昭和時代の配置薬箱



これからも、JA配置薬

JA配置薬はご家庭に本会の救急箱をお預けして、お薬を使った分だけ料金をお支払いいただくシステムです。

お申込みで
救急箱を
無料でお届け

定期的にご自宅へ
推進員が訪問

使った
お薬分だけ
ご清算＆補充

【お取り扱い品目】

- かぜ薬 ●解熱鎮痛剤 ●胃腸薬 ●便秘薬 ●下痢・食あたり
- 鼻炎薬 ●漢方薬 ●外用薬 ●ドリンク剤 ●保険薬
- 健康食品 ●各医療機器 ●介護用品 ●その他



北海道厚生農業協同組合連合会
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地
受付時間 平日 8:30~17:00



救急の よい クスリー
0120-99-41-93

JA配置薬
LINE公式
アカウント





❖お問い合わせはさとらんどへ直接ご連絡ください。
さとらんど 札幌市東区丘珠町 584 番地 2 (011) 787-0223

さとらんどからのお知らせ

さとらんどでは、さまざまな講習を実施しています。
さとらんどセンターへ TEL または直接来場にて申込のうえ、ぜひご参加ください！

あけびのかごに置くだけで、
野菜や果物がとってもおしゃれに
見えますよ！

さとらんどハーブ工芸講座 ハーブせっけんづくり

日時 9月1日(日) 13時30分～15時
会場 さとらんどセンター
定員 12人(5歳以上)
参加費 1,200円/人
申し込み 8月11日(日)から受付



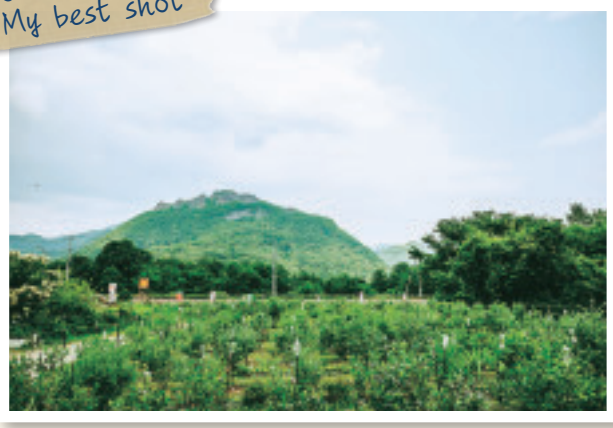
お肌にやさしい
せっけんを作ります。

さとらんど工芸講座 あけびの野菜かごづくり

日時 9月15日(日) 10時～12時
会場 さとらんどセンター
定員 10人(11歳以上)
参加費 3,300円/人
申し込み 8月28日(日)から受付

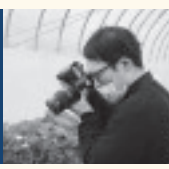


Column My best shot



八剣山を目の前に、一から農業を勉強し、一から土地を作り、一から沢山の種類の作物を作る、そんな熱意を感じました。

Photo by 曾我 孝博
2020年からフリーランスのフォトグラファーとして主に札幌市内で活動。今年度も引き続き「虹の大樹」表紙と巻頭写真の撮影を担当します。



季節ごとにフレーバーが変わる！

ベジソフト
好評発売中です！
各種 400円
(税込)



地物市場
「とれのさと」
石狩市樽川 120-3

暑い日に
おすすめ♪

- 夏(4月～11月)
9:30～17:00 / 無休
- 冬(12月～3月)
10:00～15:00 / 水曜休